

平成 28 年 1 月 13 日

ふくしま[Ⓜ]未[Ⓜ]来[Ⓜ]学

福島大学 ふくしま未来学

【みらいバス特別企画】1泊2日スタディツアー(浪江町・富岡町・楡葉町)実施のお知らせ

福島大学では、文部科学省「地（知）の拠点整備事業」（COC事業）として、原子力災害からの地域再生を目指す「ふくしま未来学」を平成25年度からスタートしました。

今年度より、教育・社会貢献の新しい取り組みとして、ふくしまを知る1Dayスタディツアー「みらいバス」を実施しています。地域の歴史や現状への理解を深め、地域の魅力や課題を探ることを目的に、学生や教職員とともに福島県内の各地域を訪れ、地元住民の方々との交流やイベントのお手伝いなどを行っています。

これまで、川内村の「高田島春季例大祭」、「かつらお村民運動会」、二本松市東和地区での農業体験、南相馬市で「相馬野馬追」お手伝い、金山町でのエゴマ収穫体験等を行い、約90名の学生・教職員が参加してきました。

6回目となる今回は、福島県の沿岸部を通り浪江町・富岡町・楡葉町の3つのまちをめぐる。東日本大震災・原発事故から約5年経った今、ふくしまの沿岸部はどのような状況か。また、復興に向けてどんな動きがあるのか、住民と交流をしながら実際の目で確かめ、理解を深めていきます。

記

【第6回みらいバス】

ふくしまの沿岸部って今どうなってるの？

現状と復興に向けた歩みを知る

～福島第一原発20km圏内の浪江町・富岡町・楡葉町の今を見つめて～

○日 程：1月23日（土）～24日（日）

○行き先：浪江町、富岡町、楡葉町

○対 象：福島大学 学生、職員、教員（約20名）

※詳細は裏面及び別紙をご覧ください。

【問い合わせ先】

福島大学ふくしま未来学(COC)推進室事務局

Tel : 024-504-2850 / Fax : 024-504-2849

当日の連絡先 : 080-2844-9501

担当 : 新田

【第6回みらいバス】ふくしまの沿岸部って今どうなってるの？

現状と復興に向けた歩みを知る

～福島第一原発 20km 圏内の浪江町・富岡町・楡葉町の今を見つめて～

1. **目的**：甚大な被害に見舞われた東日本大震災・原発事故から約5年、避難指示区域の解除が段階的に実施され、浜通り地域の各市町村では除染を進めるとともに、インフラなどの生活基盤の整備が進められ、農業や産業の再生など新しいまちづくりが始まっています。しかし、被災状況が各町村で異なることから、一言で「被災地」とくくれない多様な状況や課題が生じ、復旧・復興への取り組みは大きく異なっています。そうした双葉地方の帰還・復興状況の異なる3つの町を実際に訪れることを通じて、双葉全体の現状を直視し、復興にむけた歩みを感じるとともに、双葉地方における課題を肌で感じることを目的としています。
2. **日程**：1月23日（土）～24日（日） 1泊2日
3. **対象**：福島大学 学生、職員、教員 約20名
4. **訪問先**：浪江町、富岡町、楡葉町
 - ・浪江町・・・2017年春帰町目標。テーマ：帰町にむけた環境づくりを学ぶ。
 - ・富岡町・・・2017年春帰町目標。テーマ：帰町に向けた取り組みや町の現状を学ぶ。
 - ・楡葉町・・・2015年9月帰町。テーマ：避難指示解除後の現状を知る。安心安全にむけた技術を学ぶ。
5. **スケジュール・内容（予定）**

【1日目】

- 8:00 金谷川駅 出発
- 10:00 浪江町めぐり ※浪江町役場で若手職員と合流
- 11:00 「NPO法人 Jin」訪問 [浪江町大字幾世橋字一里檀 137-1]
収穫した小麦でうどん作り
- 12:00 浪江町役場若手職員との意見交換
- 13:00 NPO法人 Jin代表 川村博さんからお話を伺う
- 14:30 NPO法人 Jin 出発
- 15:00 富岡町めぐり
- 16:30 富岡町出発
- 17:00 JAEA 楡葉遠隔技術開発センター(モックアップ施設)訪問
[楡葉町大字山田岡字仲丸 1-22]
施設見学、福島第一原発建屋内のバーチャル体験
- 18:30 楡葉町 天神岬しおかぜ荘着



【2日目】

- 8:45 天神岬しおかぜ荘 出発
- 9:00 天神岬視察、楡葉町めぐり
- 10:30 楡葉町出発
- 13:00 楡葉町高久第九応急仮設住宅訪問
[いわき市平下山口桃木沢 3-1]
楡葉町役場職員からお話を伺う、住民との交流
- 15:30 いわき市出発
- 18:00 金谷川駅 着

